

事務連絡
平成29年7月5日

各講座の長
各分野の長
各附属施設の長
各診療科の長
中央診療施設等の長
薬剤部長
殿

先端医学研究センター長
石田 肇

平成29年度先端医学研究支援事業対象研究の募集について（照会）

標題の件について、西普天間地区に移転する医学部及び附属病院を中核とする「沖縄健康医療拠点」整備の3つの柱の第一に「高度医療・研究機能の拡充」が盛り込まれています。これについて、平成28年度に研究支援体制の構築による先端医学研究の推進に向け「先端医学研究センター(以下「センター」という。)」を設置し、基盤整備を行いました。

この度、センターの研究支援機能を医学部及び附属病院の研究者が利用しやすい環境を整え、先端医学研究の推進につなげるため、センターで選定した研究についてセンター各分野の受益者負担相当額を助成し、研究の円滑な実施を支援する「先端医学研究支援事業」を実施することになりました。

つきましては、助成を要望する研究がある場合は、外部資金の場合は該当する研究の申請書等研究計画の分かる資料を、学内経費などによる研究でそれらのない場合は別紙1を作成のうえ、下記期限までに経営企画課予算係宛に提出願います。対象研究分野等、詳細は別紙「先端医学研究支援事業実施要項」をご確認ください。

※様式等請求メールアドレス：ikeys@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

記

提出期限：平成29年7月20日（木）17：00
助成規模：1件当たり50万円を基準とし、3～4件採択
支援対象：医学部及び附属病院の教員

本件担当：経営企画課予算係
東江 内線 1019

先端医学研究支援事業実施要項

1 概要

「国際性・離島の特性を踏まえた沖縄健康医療拠点について」(平成 29 年 4 月 26 日公表)において、沖縄健康医療拠点(以下「拠点」という。)整備の 3 つの柱の第一に「高度医療・研究機能の拡充」が盛り込まれた。本学は既に研究支援体制の構築による先端医学研究の推進に向け「先端医学研究センター(以下「センター」という。)」を設置しており、28 年度にその基盤整備を行ったところである。

センターの研究支援機能を医学部及び附属病院の研究者が利用しやすい環境を整え、先端医学研究の推進につなげるため、センターで選定した研究についてセンター各分野の受益者負担相当額を助成し、研究の円滑な実施を支援する。

2 支援対象及び支援内容

(1)対象研究分野

拠点における「高度医療・研究機能の拡充」において示された 3 分野に、関連するとされた 3 分野を加えた以下の 6 分野とする。

- ①ゲノム・バイオバンク
- ②感染症
- ③創薬研究
- ④再生医療
- ⑤稀少疾患
- ⑥生活習慣病

(2)支援内容

上記 6 分野の研究に取り組む研究について、センターで選定の上、申請年度におけるセンター各分野利用の際の受益者負担相当額を助成する。

(3)支援対象者

医学部または附属病院所属の教員とする。

3 申請方法

外部資金を獲得する際に作成した研究計画調書の写しを下記提出先へ提出すること。

なお、例えば科研費の継続課題のように、今年度新たに調書を作成していない場合は、申請時点の計画調書(変更のある場合はそちらの関係書類を含む)の写しを提出すること。

また、学内経費による研究など研究計画調書を作成していない場合、様式 1 により研究計画を作成し提出すること。

4 配分規模

1 件当たり 50 万円を基準とし、3～4 件採択する。なお、採択額により件数が変わる場合がある。

5 審査基準・選考方法

拠点形成に向け次の点に着目し、大きな効果の見込まれる事業をセンター運営会議で審査の上センター長が決定する。

- ①拠点における研究機能の拡充への効果
- ②拠点における診療の充実への効果
- ③拠点における研究交流・人材育成への効果

なお、OIST 等の国内外の関係機関との連携や医工連携を求められていることを考慮し、これらに資すると判断される場合は配慮する。

6 報告その他事業終了後の取扱い

本事業を活用した研究全体の報告書を外部資金提供元へ提出した後、同一のものまたは写しを遅滞なく下記提出先へ 1 部提出すること。事業が次年度以降複数年度に渡り、支援を実施した年度において報告書を作成しない、またはそもそも報告書を作成しない事業の場合は、様式 2 により報告書を作成し提出すること。

また、センターの成果を学内外へ公表する際、積極的に協力すること。

【書類提出先】 経営企画課予算係
内線 1019

平成 年度 先端医学研究支援事業申請書

申請者氏名		所属(職名)	
課 題 名			研究分野 (作成要領 の分野番号 を記載)
研究計画立案組織			
氏 名	所 属 (職 名)		役 割 等

申請を予定するに至った背景、これまでの実績、準備状況等

上記の実績を裏付ける業績等（業績リスト等）

本事業を活かした研究全体の計画及び先端医学研究センターの利用計画

所要額内訳（支援部分のみを記載のこと。）

費 目	金 額（千円）	概 要
・ 動物実験施設△回利用 ・ 実験実習機器センター△回		
合 計		

先端医学研究支援事業申請書作成要領

1. 研究分野

- ・本事業の対象分野である以下の分野のいずれかを選択(複数選択可)。
①ゲノム・バイオバンク ②感染症 ③創薬研究 ④再生医療
⑤稀少疾患 ⑥生活習慣病

2. 研究計画立案組織

- ・代表者に※印を付すこと。
- ・計画にかかる役割が分かるよう役割等欄に記載する。

3. 申請を予定するに至った背景、これまでの実績、準備状況等

- ・本事業を活用する研究の着想の経緯やそれを支える実績、準備状況などを記載。特に、本学の研究の拡充や地域医療への貢献など沖縄健康医療拠点の形成・強化に繋がる部分があれば記載。実績については、最近3年間の研究実績について記入すること。

4. 本事業を活かした研究全体の計画及び先端医学研究センターの利用計画

- ・研究の計画及びその中における先端医学研究センターの位置づけや利用計画などを記載すること。

5. 所要額内訳

- ・先端医学研究センター構成各施設(実験実習機器センター, 動物実験施設, R I 実験施設, 再生医療研究センター, 臨床研究支援センター, 臨床研究教育管理センター)及びバイオバンク・生物統計の各分野の利用に当たっての受益者負担見込額を記載。
- ・受益者負担額について定めのない施設もあるので, 各施設へ問い合わせた上で記載すること。

6. その他

- ・必要に応じてポンチ絵、写真等を添付すること。

平成 年度 先端医学研究支援事業 実施報告書

講座・診療科等：

研究名称			配分額 (全事業費)	千円
実施期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日			
研究の実施概要				
研究成果				
成果の公表・活用				
プロジェクト等担当者	氏 名	所属職名(役職名)	担 当 分 担	
経費の執行状況 (支援部分のみを記載のこと)	積算内訳	配分額	執行額	備 考
	(例) ・動物実験施設 △回利用 ・実験実習機器 センター△回 …□	千円 300 100 100	千円 280 110 100	10千円は執行残

実施報告書作成要領

1. 研究名称および配分額

- ・平成29年度に支援事業の対象となった研究の名称および金額を記入すること。

2. 研究の実施概要

- ・研究内容等実施状況を具体的に記入すること。その際、先端医学研究センターの活用状況について合わせて記載すること。
(具体の実施状況が判断できない記載は不可)

3. 研究成果

- ・平成29年度支援事業の対象となった研究の成果について具体的に記入すること。

4. 成果の公表・活用

- ・公表についての発表先・投稿先、その時期および公表方法を記入すること。
- ・公表の予定のない場合、研究による成果をどのように活用し、研究の拡充や地域医療への貢献など沖縄健康医療拠点の強化につなげるのか記載。

5. 研究担当者

- ・代表者には氏名の欄に*印を付すとともに、プロジェクト等の担当分担を記入すること。

6. その他

- ・様式枠にとらわれず、必要に応じて継紙に記入しても構わない。

国際性・離島の特性を踏まえた沖縄健康医療拠点について

(西普天間住宅地区における国際医療拠点の形成に関する協議会報告)

沖縄の医療の国際性

- ・沖縄の医療は戦後、米国の協力の下に整備
- ・インバウンドが増加し感染症流入のリスク

広域・多数の島からなる沖縄の医療の特性

- ・離島及びへき地での医療体制確保が必要
- ・遺伝学的に特徴的な体質や疾病構造が存在

西普天間住宅地区跡地に琉大医学部・病院を移設し、沖縄の医療体制の中核となる医療拠点を整備

①高度医療・研究機能の拡充

○バイオバンク

- ・沖縄県民のゲノムの生体情報と医療情報システムを融合したバイオインフォメーションバンクを整備

○生物資源ライブラリ

- ・創薬研究への橋渡しとなる生物資源を保管・活用

○感染症対策

- ・感染症対策の研究・臨床機能を拡充

○創薬開発、医工連携

※OIST等の国内外の関係機関と連携して実施

②地域医療水準の向上

○県内医療機関への医師派遣機能強化

○がんセンターの機能強化 等

③国際研究交流、医療人材育成

○海外大学、研究機関等との共同研究

○高度医療や地域医療に必要な人材育成

- ・バイオ産業の基盤を整備し、創薬開発等を通じて**沖縄振興へ貢献**
- ・沖縄の公衆衛生、地域医療水準の向上等を通じて**「長寿県沖縄」の復活**
- ・感染症対策等を通じて**国際保健(グローバル・ヘルス)への貢献**